



希望が丘

教育目標 「 自律 尊重 創造 」

《第3号》

上越市立名立中学校

電話 025-537-2204

Fax 025-537-2214

(令和5年6月22日発行)

ここからが大事「第1回定期テスト」

6月5日（月）、今年度1回目の定期テストを行いました。名立中では、5教科のテストを1日で実施する形をとっています。これは、新潟県公立高校入試と同じ日程です。1日で5教科のテストを受ける日程に慣れてほしいことと、そのためのテスト勉強の進め方を考え、学力と体調をテスト当日に合わせて万全に整えることを身に付けるねらいがあります。定期テストそのものが初めてだった1年生はもちろん、2年生も3年生も1日5教科の定期テストに奮闘しました。

定期テストを実施するに当たって、1週間前からテスト前の部活動停止期間とし、また教科別の質問教室や、絆班での教え合いの時間を設定しました。教え合いの時間では、学習内容だけでなく、上級生が1年生に、テスト勉強の進め方やポイント話す場面もありました。質問教室では、時間いっぱい、最後まで分からないところを質問し、理解を深めようとする姿が見られました。この前向きな学習態度が継続するよう、職員もまた日々の指導に力を入れていきたいと考えています。

「テスト」と聞くと、受験して、返却されて結果が分かればそこがゴール、と捉えられる傾向があります。もちろん、示された学習すべき項目に対し、計画を立て、立てた計画に沿って努力していくことはとても大切です。しかし、そこで終わりではないのです。高校入試や大学入試とは異なり、定期テストや単元テスト、音読テストなどのパフォーマンステストは、その結果からどう学習を進めていくべきかを教えてくれるものなのです。教科を問わず、どの職員もテスト直しを重視します。ご家庭でもぜひ、点数だけではなく「答案そのもの」を確認していただきたいと思います。

「テスト」と聞くと、受験して、返却されて結果が分かればそこがゴール、と捉えられる傾向があります。もちろん、示された学習すべき項目に対し、計画を立て、立てた計画に沿って努力していくことはとても大切です。しかし、そこで終わりではないのです。高校入試や大学入試とは異なり、定期テストや単元テスト、音読テストなどのパフォーマンステストは、その結果からどう学習を進めていくべきかを教えてくれるものなのです。教科を問わず、どの職員もテスト直しを重視します。ご家庭でもぜひ、点数だけではなく「答案そのもの」を確認していただきたいと思います。



初テストにやや緊張の面持ち



テスト直前休み時間の学習風景



質問教室で疑問を解消



生徒同士も教え合い、学び合う



「プロフェッショナル」を体感「プロに学ぶ会」がありました～

6月9日（金）、名立中学校キャリア教育の一環で、様々な職種の方々から達人技を見せてもらい、実際に体験する「プロに学ぶ会」が行われました。生徒は石工（いしく）、畳工（たたみこう）、和菓子の3コースに分かれ、体験活動を行いました。

石工コースでは、講師から石をうまく削るためのコツを披露してもらったあと、生徒一人一人が事前に用意してきたデザインを基に、実際に掘り、そして削り進めました。ヤスリを掛けるときの力加減が大事だと分かりました。

畳工コースでは、講師から習って、花台と畳の手縫いを体験しました。生徒は講師の巧みな話術に乗せられながら作業に没頭していました。針を通すときの力強さと畳縁を貼り付けるときの繊細な感覚を、作業を体験しながら学びました。

和菓子コースでは、講師から教えてもらい、上生菓子2品を作り、その場で試食しました。ただお菓子を作るのではなく、季節感を意識することが大切だと分かりました。ある参加者は、「季節感を大切にしながら上下左右のバランスに気をつけて作ることが大変だけどできあがったときはうれしい。」と言っていました。

生徒たちは、講師が発する「プロ」の雰囲気に取り組み、真剣な表情で作業に取り組み、積極的に質問していました。非常に価値ある時間を過ごすことができました。



達人の目にかなう、弟子候補はいたか



力強く、かつ繊細に



季節感をイメージすることが大切

人間関係づくりの第一歩～小中合同あいさつ運動がありました～

6月7日（水）と8日（木）の2日間、宝田小学校・名立中学校合同のあいさつ運動を行いました。宝田小学校前と名立中学校坂下の2カ所に分かれて、登校してくる児童生徒や地域の方にあいさつをしました。小学校前では、小学生と一緒にバスを迎えあいさつをしました。ついこの前まで小学生だった中学1年生は、小学校の先生方や後輩たちと再会し、あいさつの合間に楽しそうに話す姿が見られました。中学校坂下でも、登校してくる中学生や、赤野俣の小学生にあいさつをしました。

あいさつは人間関係づくりの第一歩です。これからの長い人生、たくさんの人と接していく中で、さわやかなあいさつができれば、そこから温かな人間関係が始まります。あいさつ運動は秋に2回目を予定しています。さわやかな、大きな声のあいさつをして、皆様から「さすが中学生」と思っただけのような、成長した姿を見ていただきたいと思います。



中学校坂下でのあいさつ



宝田小で小学生と一緒にあいさつ